

Q 国道拡幅改良工事の促進を

A 交流の場整備もあり強く要望している

問

国道拡幅工事が桑折町地内で進められている。町としても早期促進を働きかけるべきだと思いが。

に強く要望している。

問

町内の国道工事はいつ着工し、いつ完成となるのか。

問

町で計画中の交流の場事業に影響は。

建設課長

今年中に造成工事に着手したい。次年度以降は、国、県、町の三者合同会議の中で調整を図っていく。

建設課長

道路巡視員が定期的なパトロールしている。町内会でも美化作業などの協力をお願いしたい。

問

この町道には数多くのカーブがあり危険である。通学路でもあり、側溝に蓋かけをしては。

建設課長

学校や交通安全全部会と現地を精査し対応していく。

問

貝田集落内の旧国鉄レンガ橋が町の文化遺産として認定された。完成までの経緯などを公開しては。

生涯学習課長

大木戸地区や貝田宿の歴史・文化財を紹介するパンフレットを作成したい。

問

貝田駅に大木戸地区の歴史マップを電光板で作成

サービスエリアへの

町道を改良すべき

問

貝田集落からサービスエリアへの町道は急勾配で交通量も多く誠に危険である。改良すべきでは。

建設課長

跨線橋の改良を含めると莫大な工事費となる。今後とも維持修繕工事に対応していく。

問

途中の跨線橋は重機による除雪をしても安全か。

建設課長

新年度に国の補助事業として橋梁の詳細点検を実施することとしている。



志村良男議員

町長 国などへは年間を通じ近隣市町と連携し要望活動を行っている。また、交流の場の整備にも関連することから町単独で幾度となく復興大臣など

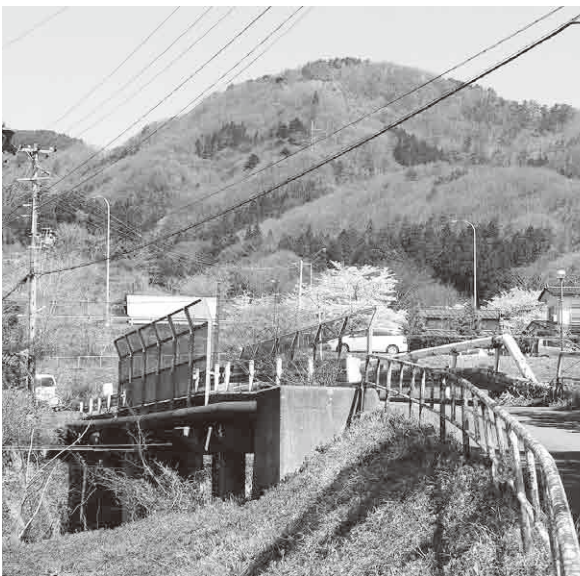
建設課長

国の予算が確保され次第、順次着工し、10年程度かかるとのこと。

問

中学校から貝田集落までの町道には数多くの文化財がある。歴史街道として活用するには年間を通じ側溝などの管理を徹底すべきでは。

県北中からの旧国道を歴史街道として整備しては



跨線橋の安全確保に早期点検を(貝田字山ノ神前地内)